

# とめNNだより

平成30年12月発行  
第15号

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称NN部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年4回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴活動推進委員会】

## ■横山小学校の稲刈り体験取材しました！（登米市津山町）

平成30年10月5日（金曜日）に、登米市立横山小学校で総合学習の一環として稲刈り体験が実施されました。

横山小学校では、農事組合法人フォレストウインド津山や地元の方の協力を得て、総合学習の中で農作業体験を実施しています。今回稲刈りをしたのは4年生から6年生の児童です。好天にも恵まれ、みんなで協力して稲刈りを行いました。今回稲刈りを行った実習田は、地元の方の所有地ですが、普段の維持管理はフォレストウインド津山が行っています。地元の方と活動組織、そして小学校が、より深い学習を行えるように協力し合うことで、この総合学習が実現しています。



▲稲刈りの様子



## ■第2回初期型ほ場整備再生計画策定検討会を開催しました

登米地域は、水田整備率が84%と県内で最も整備が進んでおりますが、30a区画で整備した水田が多く、大区画（50a区画以上）の整備率が決して高くない状況です。そこで、30a区画で整備した水田を「初期型ほ場整備」と定義し、今年3月に当事務所の他、登米市、JAみやぎ登米及び関係土地改良区による「初期型ほ場整備再生計画策定検討会」を設置しました（詳細は、第12号を参照）。

10月23日には、今年、第2回目となる会議を開催しました。今回は、第1回の会議で委員の皆様から頂いた意見を反映した、完成形に近い「登米地域の初期型ほ場整備再生計画（案）」を検討しました。会議では、この案に大筋の了承を得たことから、今後は、細部の修正を行い今年度末までに再生計画の策定、また再生計画に基づき農地整備を行う地区選定に向けて取り組んで参ります。



▲検討会の様子



## ■平成30年度登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議を開催しました！

平成30年10月31日に登米管内における農業水利施設ストックマネジメントの推進を図ることを目的に、施設管理者である登米市及び土地改良区職員を対象とした登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議を登米合同庁舎503会議室で開催しました。

会議では、新規採択事業の流れについての説明のほか、今年度多発している農業水利施設の突発事故発生状況とその対応について実例を用いて紹介しました。県全体の農業水利施設の約7割が標準耐用年数を超過し老朽化が進行しており、登米管内においてもストックマネジメントが重要になっています。

今後も定期的に推進会議を開催し、登米市及び土地改良区と連携を強め、ストックマネジメントの普及啓発及び推進を図っていきます。



▲管内農業水利施設



## ■地すべり防止区域の清掃作業を実施しました！（登米市東和町）

地すべり防止区域錦織（にしこおり）地区の水路清掃作業を11月16日に実施しました。

登米市の東和町に位置する錦織地区は、宮城県が管理する地すべり防止区域となっています。当地区の承水路は表面水を適切に処理し、地すべりを防止するために設置された施設ですが、設置から約25年経過しているため、多くの土砂や枯れ葉が堆積し、排水機能が著しく低下していました。そこで今回、当地区の水路の一部について、登米地域事務所農業農村整備部の職員4名で清掃作業を行いました。

土砂は約15cmほど堆積しており、大変な作業でしたが、予定していた区間については無事完了しました。今後も地すべり防止のため、当地区を適切に管理していきます。



▲作業中の状況



▲清掃後の水路

